

帝人株式会社 ■ 広報・IR室

●東京本社 〒100-8585 東京都千代田区霞が関3丁目2番1号 霞が関コモンゲート西館 TEL.03-3506-4055 FAX.03-3506-4150
●大阪本社 〒541-8587 大阪市中央区南本町1丁目6番7号 TEL.06-6268-2763 FAX.06-6268-3010
●URL <http://www.teijin.co.jp>

2010年6月28日

炭素繊維製品に関する EADS社との長期供給契約締結について

東邦テナックス株式会社

東邦テナックス株式会社(本社:東京都千代田区、社長:三嶋 孝司)は、このたび、エアバス社の親会社であるEADS社(本社:オランダ、CEO:ルイ・ガロワ)との間で、EADS社傘下の各社が開発・製造する航空機向けに、炭素繊維「テナックス®」の原系および中間材料を直接供給する長期基本契約を締結しました。

また、同時に当基本契約に基づく具体的な個別契約の第一弾として、A350XWB(エクストラ・ワイド・ボディ)機向けに炭素繊維強化熱可塑性樹脂積層板を直接供給する契約を締結し、既に材料としての認定試験を開始しました。

東邦テナックスは、今後予測される熱可塑性樹脂を用いた炭素繊維複合材料の需要拡大に対応すべく、熱可塑性プリプレグ(炭素繊維に樹脂を含浸させたシート)の製造設備をドイツの事業拠点に新設することを決定し、2011年3月の生産開始に向けて工事を進めています。

さらに、東邦テナックスとエアバス社は、その他の航空機向けにも炭素繊維中間材料の開発を進めています。この材料は、炭素繊維「テナックス®」にベンゾオキサジン樹脂を複合させた炭素繊維プリプレグで、現在、A380後部胴体部にある補助動力装置収納部の天井用として、供給契約締結に向けて協議を進めています。

東邦テナックスは、1989年以降、エアバス社のA320、A330、A340の各シリーズをはじめ、最新機種のA380に至るまで、広く炭素繊維「テナックス®」の原系を供給しており、品質優位性および長期にわたる供給実績が認められ、同社のトップサプライヤーの地位を確保しています。また、2008年には炭素繊維中間材料の共同開発に関する契約も締結しています。今後も両社はさらに緊密に連携し、機体の軽量化やエネルギー効率の向上を追求していきます。

以上

【当件に関するお問合せ先】

帝人株式会社 広報・IR室 (東京)TEL:03-3506-4055 (大阪)TEL:06-6268-2763